

冠山会会長
小林 勢治

業式の円滑な運営にご理解とご協力をいただきました。多くの時間と労力を費やして学年をまわめてきていただいた幹事の皆様のご尽力と誠意に対し、先ずもって敬意と謝意を申し上げます。

さて、本紙「冠山会だより」は今回の発行で第四十号の節目を迎えます。また全ての会員にお届けする現在のスタイルになつてから四半世紀を迎えようとしています。

本会としても会員のご意見やご要望を踏まえながら、母校の情報をより多くお伝えできる会報を目指して今後とも紙面の工夫改善を図ってまいります。

また会報の発行に伴ってお願いしております「協力金」につきましては、毎年二千名を超えざる皆様からご厚志をいただき、発行経費はもとより母校の教育活動ととりわけ海外研修事業および運動部・文化部活動を支援する財源として活用させていただ

発行所
奈良県立郡山高等学校
冠山会
発行責任者
日高容子
編集責任者
冠山会事務局
発行部数 32,000部

いております。ご協力を賜っております。ご協力をお願い申し上げます。

お申し込み各位には心より御礼申し上げますとともに、全ての会員の皆様には今後とも更なるご協力をお願い申し上げます。

現在の冠山会総会は、毎年五月の第二日曜日に母校の講堂をお借りして開催しております。

残念ながら近年の総会は参加者の固定化と高齢化が進んで参加人数が年々減少し、『活性化を目指して何とか総会運営の早直しができないか』という声が大きくなっておりました。

ついては昨年度からこの課題
 について役員会等で協議を重ね
 てまいりました結果、開催日は
 現状通りとするものの、会場を
 「ホテル日航奈良」に移し、運
 営は当年度に卒業後五十年を迎
 える学年と冠山会とが共同して
 行うことに決定いたしました。

令和三年度総会からこの方法で開催しますが、初年度は昭和四十七年卒業の皆様にご協力をお願いすることになります。

今後一年をかけて具体的な共同作業の在り方について話し合いを重ねて参りますが、大きな盛り上がりを感じる総会となりますことを期待しております。

平成二十二年以来着手されていなかった会員名簿の編集発行事業ですが、昨年の総会において十年振りに名簿発行することの承認をいただき昨秋から作業を開始いたしました。そして予定どおり本年六月に発行する運びとなりました。また、今回の編集発行事業には多くの皆様から賛助金ならびに広告協賛のご協力を賜りました。協力いただき

きました皆様紙面をお借りして心より御礼申し上げます。有難うございました。

二期目への思い

最後に私事で恐縮ですが、本年度の役員会で二期目の会長職を承りました。二年前の会長就任当初にいただいた「冠山会活動の活性化」という大きなミッションは未だ道半ばであり引き続きの取組が求められます。今後とも役員の皆様と共に、全力で諸課題に取り組んでまいるのであります。会員の皆様にはどうか尚一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

校長挨拶



校長 土居 正明

桜の季節の本校正門周辺は、例年、お城祭りに合わせて屋台が並び、桜を愛でながらそぞろ歩きする人たちで、大変賑やかである。焼きそばを昼食とする教員も、嬉しそうに、よくそのそぞろ歩きに交じている。しかし、本校ホームページで景色をお伝えしたとおり、今年は、屋台もなく人影もまばらで、狭い石畳の道に、あるいはお城の石垣に、満開の桜がそつと枝を垂らしている、という風情だ。それはそれで、とても美しい風景ではあるのだが、その背景に気づき、少したじろいだことを思い出す。

今年度は新型コロナウイルスによる感染症を語らずには、社会の様子も学校教育も合点がいかない。天然痘、ペスト、スペイン風邪に並べて評され、WHOからパンデミック宣言がなされたこの感染症は、まさに世界中で猛威を振るっている。すべてが収束したあとで、歴史書にどのように記されるかわからないが、とにかく今は感染予防が最優先事項である。

令和元年度卒業式、令和二年度入学式は、冠山会の皆様を始めとする御来賓の招待自粛の要請に御理解いただき、保護者の皆様には参列の人数制限をお願いし、入場者には手洗い消毒とマスク着用の徹底をお願いした。吹奏楽や合唱などの心づくしの華や

かさは一切なかったが、郡高らしい静謐で厳かな式典が挙行されたことを、紙面をお借りして冠山会の皆様に御報告します。また、卒業式に恒例の、卒業五十周年の先輩方への御招待も叶わなかったにもかかわらず、御支援のお志を預かりました。報告とともに心より御礼申し上げます。

令和二年度は、入学式の、その翌週からの臨時休業・在宅教育で幕を開けた。四月十六日に政府から緊急事態宣言が発せられ、猛威が最大限の警戒を要するレベルに達した。三密という言葉が生まれ、密閉・密集・密接の状態を作らないことが求められた。人と人の接触を八割抑えることができれば収束に向かう、との号令の下、外出制限に伴う社会活動や企業活動の自粛が求められ、もちろん学校における教育活動も大幅に制限された。自分を守る、家族を守る、周囲の大切な人を守るために、を合い言葉としている。しかし、生徒は登校できぬまま、一年生は担任の顔さえ覚えられず郡高生になった実感にほど遠い有様、三年生にとっては貴重な一学期がどんどん過ぎていくと、焦る姿は想像に難くない。

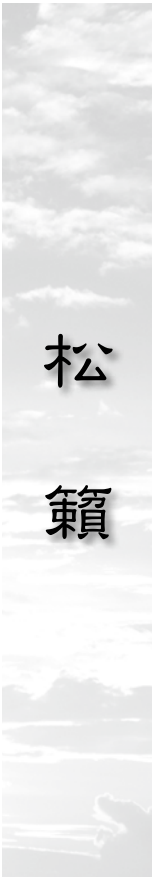
在宅教育に関する県教委からの指示に動画配信があり、本校はユーチューブ上での「郡高チャンネル」作りに取り組んだ。授業を中心にした全先生方のチャレンジは四月二十日の配信開始から一週間ほど

で二百本を超えるコンテンツ（撮影された動画）を揃え、生徒たちに提供することができた。その内容はどこに出しても恥ずかしくないレベルに仕上がっており、先生方の生徒のために何ができるか、何を届けられるか、という強い思いを改めて感じることとなった。

部活動においても、組織的な練習ができず、また、試合や発表などの場がなく、ずいぶん悔しい思いをしている生徒が多いはずである。体育系では三月の全国選抜大会、八月の全国総合体育大会（インターハイ）、春夏の甲子園大会が中止となるなど、部活動をする高校生の気持ちを考えると、本当に胸が痛い。叶うなら大学へ進み、思いをぶつけて欲しいと願う。何はともあれ、このような事態が収束した後は、人と人が思いっきり接し、集まり、切磋琢磨し、いたわり合い、そして、信じ合えることがいかに素晴らしいか、がわかるであろう。いつものあたり前が、どれほど貴重で大切なものなのかに気づくことができれば、これは大きな成長となるに違いない、と信じる毎日である。

いつも母校を応援いただきありがとうございます。若い後輩たちの成長のために、引き続き御協力賜りますようお願いいたします。





松籟

築後およそ一世紀、その間、名称と役割を変えながらも、本校生の青春の舞台であり続けた『体育教室』が今夏、解体されま

す。その歴史を「郡山高等学校百年史」からたどってみると：。大正13年、本校の前身、郡山中学校に本館全焼という悲劇が襲います。この本館はわずか4ヶ月前に新築され、お祝いをしたばかり。再建が容易に進むはずもなく、奈良中学との合併話も出て、一時は存続の危機に陥りますが、郡中を思う多くの県民の熱意とご寄付により、やがて校舎の再建が決まります。本館の新築から遅れること2年、大正15年に工費約2万円、『生徒控所』の名称で誕生したのが我らが『体育教室』なのです。『生徒控所』とは聞き慣れない言葉ですが、これは学校に設置すべきものとして長く法律で定

められた施設でした。昭和10年代の郡中生徒心得に「朝礼及び授業開始の合図はサイレンによるをもって、用意、整列、入場等の行動は努めて敏速かつ整齐なるべし。」とあります。一般的に生徒は登校すると「控所」に集まり、荷物を置いた後、授業時間になると2列に並んで「教場」に入場、昼食は「控所」に戻って食べていたようです。本校の『生徒控所』は長く本館内の玄関脇にあったのですが、生徒数増加への対応と体育施設として利用のため、独立の建物となったわけです。冠山会館2階に竣工を祝う当時の絵はがきが展示されています。当時流行のオールデコの影響か、波形のデザインが施された壁はやはりモダンでおしゃれな印象です。

戦後、郡中は郡高に変わりま

うになり、『生徒控所』は『体育館』に名前を変えます。昭和26年(25歳)、本校が保健体育実験学校に指定されると、床にはラインが引かれ、バスケットゴールも設置されたようで、以降、籠球部の練習場所、雨天体操場としての役割を果たしていくこととなります。

本校が70周年を迎えた昭和38年(37歳)、記念事業として旧冠山会館と新体育館が新築されました。これにより、『体育館』は『旧体育館』『小体育館』と呼ばれるようになります。とはいえ、時代はベビーブームの生徒急増期に当たっていたため、建物の東側半分を3つに仕切って教室に転用されることとなり、それは東館が完成する昭和44年まで続きました。『小体育館』の教室への転用は昭和56年頃(55歳)にもありました。それは、南館改築の時期。新築なった講堂と向き合って、4教室が配置されているのには驚きます。

さて、「郡高百年史」編纂の頃、

つまり、平成3年(65歳)には旧本館が取り壊され、記念事業の目玉として現本館の新築工事が始まります。この時、『体育教室』は『管理棟(事務室・職員室)』に姿を変えたと記憶します。翌年、マール模様らしい新本館が完成。以降は皆さんの記憶のなかに、それぞれの『体育教室』があるかと思えます。入学生、卒業生は緊張の面持ちでここに並びました。体育の授業では卓球教室にもなりました。卓球部の練習場所もここ。吹奏楽部は遅くまでマーチングの音を響かせました。そして、「郡高祭」、育友会のバザー会場はいつも大賑わいでした。

耐震強度の不足から昨年度(93歳)は扉を開けることもなかった『体育教室』。跡地には新理化館が新築されます。本校の景色が一新する令和3年秋に思いを馳せながら、感謝を込めて、「長い間、お疲れ様。たくさんの思い出をありがとう。」



城内高等学校、思い出多き学舎 温故知新

昭和56年城内高等学校卒 松下 靖

奈良県立城内高等学校を卒業して四十年になろうとしていた令和元年の十一月に『城内校舎が取り壊される』と云う悲しい知らせを聞きました。それは高校時代の部活動のLINEグループからでした。

既に閉校となった百周年の時には感慨深いものがありました。が今回の取り壊しの一報に対しては、余りにも衝撃が大きく、一瞬何をどう理解して良いのか、戸惑うばかりでした。

その時直ぐに「何か証を残したい」という漠然とした気持ちとわずかばかりの使命感のようなものがこみ上げて参りました。そしてteam jonai 81(同窓会LINE以下TJ81と記します)にその想いを「ドローンで



の校舎撮影をしたい!」という形で同窓生にコメントしたところ、全ての方の同意と協賛を頂く事になり私は直ぐに恩師である神田先生と中谷先生に連絡をしたのが十二月初旬でした。

その時点から両先生が郡山高校の中澤教頭先生、奈良高校の伊吹教頭先生への連絡や教育委員会との交渉と許可を数日の間に進めてくださいました。

本当に両先生の存在が四十年経った今も卒業生全員の恩師であるということを痛切に感じた瞬間でもありました。

当初は二月上旬に入つての撮影を考えていたのですが工事のスケジュールが判らず、噂では一月中旬にも取り壊しが始まるのではないかと云う事でしたの

で急遽、令和二年一月九日の十二時から撮影することを決めました。

新年も始まって早々にも拘らず許可を頂き撮影に臨みました。当日は神田先生と東京から帰省されていた五十嵐(旧姓安井)さんと永井君という同窓生も駆けつけて頂き校門の管理をして頂いた郡山高校の中澤教頭先生までもがご越しく下さいました。

撮影は約一時間半で終了。登下校時に通った通路を辿るような目線でドローンをゆっくりと操作しながら撮影する事で少しでも当時の登下校の様子を思い出して貰えるような映像とドローンならではの校舎を中心に五十メートル上空から円を描きながらの撮影や、郡山城のお堀上空から城内校舎と正門から運動場の映像を撮影して終了いたしました。

それを素材に約十三分の動画として編集を行い校舎の思い出として証を残す事ができました。この頃から日頃活発に日常の

会話を楽しんでいましたTJ81の方々にも観て頂きたいと云う思いと同時にTJ81の中からも映像を見たいとのコメントが増えてきたので、TJ81の同窓会幹事の松永君にお願いして上映会&同窓会を企画して頂きました。

そうして二月九日、ちょうど一月九日の撮影から一ヶ月後に奈良市の天平俱樂部というお店で十六名の参加により上映会&同窓会を開催いたしました。

そこには神田先生や中谷先生はもちらんの事、小原(旧姓中谷)さんからお声掛けして頂きました松井先生もご参加いただいたの会は思い出と懐かしさで三時間があっという間に過ぎてしまう程の会となりました。

改めて四十年の思い出は年を増す毎に鮮明になり高校時代にはあまり話もしなかった同級生とも一瞬で四十年来の旧友となるのも、たった三クラスであった事と学生時代に同じ体験をしたという事が共通の体験として繋がっている事実が今になって本当に良い同級生と良い教師に恵まれたと心の底から思っています。

ドローンを用いて四十年を遙かに超える歳月を経た古き良き学生生活の場所であった校舎をいつ迄も思い出す事で旧友や恩師との新たな繋がりや発見が出来たことは、正に学生時代に

習った「温故知新」という言葉の意味を四十年目にして改めて体感できた事で、高校時代からの宿題を一つ終了したような清々しい気持ちと、同級生と恩師の素晴らしいさを感じる事が出来たという素晴らしい体験となりました。

最後になりましたが撮影を快諾して頂きました郡山高等学校様、奈良高等学校様、奈良県教育委員会様、そして何よりもご尽力いただきました神田先生中谷先生に改めてお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

校歌

大田順康 作詞
小室と一 作曲

一 春日の杜と生駒の嶺の
つらなとくろふ 松栢の
古城の麒麟 高き
わが学び舎は 経緯えたり
強健の意気天と 街く
城内高に 栄えあふ

二 緑の生命 息吹きまっ
永き伝統と 誇りまっ
高き理想の 眉とあけ
真理の道と 究めゆ
城実の気風 振る
城内高に 栄えあふ

旧城内高等学校に在籍いただいた
教職員並びに卒業生の皆様へ

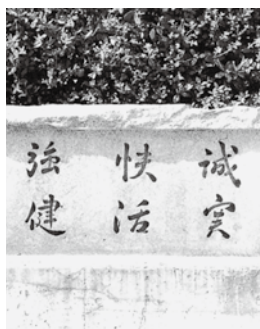
旧城内高等学校は、明治三十九年、現在郡山高等学校の体育用グラウンド（通称桜花グラウンド）の一部に創設されました。そして、大正九年、旧郡山城麒麟郭跡に移転されました。更に木造校舎が鉄筋に変わり、創立一〇〇有余年の学舎は体育館のみを残し、令和二年三月末、更地として地主の柳澤城主に返還されることになりました。永きに亘り学舎として多くの生徒の思い出を作っていただき有難うございました。

県立郡山高等学校と併合され、城内学舎として活用された時より、元校長室に設置されていた記念物品等は郡山高校の校友会館に保存していただいています。

見学を希望される方は左記へご連絡下さい。

郡山高等学校事務室
☎〇七四三―五二一〇〇〇―

記 中谷



叶わなかった卒業式列席と同窓会

浦野 圭司（昭和45年卒）

我々昭和45年3月郡山高校卒業生は、50周年を迎え、母校から卒業式列席のご招待を受けました。できる限り同級生を集めて、懐かしい母校に参集しようと昨年の夏以降、作戦を練りました。まず、同級生の住所・連絡先の整理です。各クラスから世話人役を男女1名ずつ約20名を選出し、卒業後のクラス会等の名簿を整理し、現住所の確認から始めました。卒業式列席・その後の合同同窓会の運び方について、数回役員会を冠山会館にて開催し、夫々のご意見を纏めながら着々と準備を進めておりました。

また、卒業式は無事挙行され、卒業生と父兄のみの参加だったと聞きました。突然の出来事で、しろうがなかつたと理解しますが、前代未聞で、歴史に残る場面を経験したと思います。

我々としても、このまま過ぎすこともできず、母校と冠山会に対して、高校生時代の自分を育てて頂いたご恩に、少しでも報いたいと、再度同級生有志に寄付金をお願いし、3月末にお届けさせて頂きました。母校の益々のご隆盛と冠山会の末永き存続を心からお祈り致しております。

しかし、いざ卒業式が迫ってくる頃に、新型コロナウイルスが世界中で騒がれだし、直前になって、県の教育委員会からの通達で卒業式列席が中止となりました。本当に急転でしたので、慌てて出席予定者に連絡し、合同同窓会まで中止となり



いよいよですね

日高 容子（昭和46年卒）

いよいよ卒業50周年の年を迎えるのです。

いよいよ、いよいよですね。来年金和3年3月1日は昭和46年卒業の私たちが、50年ぶりに卒業式に招待されることになっています。

今年、1年上の先輩方は、本来に残念ながら、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、卒業式には参列できませんでした。今、まだ、感染者はふえる傾向にあり、予断を許さない状況です。とても心配なことです。

しかしながら、予定としては私たちの番が回ってきたのです。コロナが収束に向かい、晴れて来年度の年明けには招待状が手許に届き、3月の卒業式にはみんな出席できるようなことを、只ただ祈るばかりです。

感染された方々へのお見舞いの気持ちと、これ以上ふやさない努力をして参りたいと思います。心静かに自分のできることをし、来年度の卒業式当日に母校郡山高校で一人でも多くの同級生とお出会いできることを、心から切に切に願っております。

お知らせ！

昭和46年3月卒業生の皆さんへ

（杉井辰彦、植松明夫、堀内治兵衛、日高容子）

昭和46年卒業の方は、卒業50周年に当たります。

来年の卒業式（令和3年3月1日）に招待されます。

卒業生の今

●水野 真那(平成29年卒)

在校生の皆さん、初めまして。
私は2016年度卒業121期生の水野真那です。

現在は、同志社大学心理学部心理学科4回生の学生です。また、体育会剣道部にも所属しています。

郡高生の頃も剣道部に所属しており、皆さんと同じように文武両道を心掛けて3年間励んでいました。

今回は冠山会便りを通して、私の大学生活について書かせていただき、皆さんに「大学生ってこんな感じかあ!」とイメージを膨らませていただければ幸いです。

まず、私が通っている同志社大学心理学部について、心理学部は京都府の京田辺キャンパスに在り、大学らしい広々としたキャンパスが特徴です。京田辺キャンパスは基本的に理系の学部が多く、私は高校生の頃から文系でしたが、文理融合の心理学部で学んでいます。

大学の勉強に関しては、専門的な知識を学ぶ機会が多く、高校までとは全く違ったことを学べるので非常に新鮮で楽しいです。また、同志社大学の心理学部は国内の大学でも屈指の学部で、大学1年生の頃から自分たちでラットのお世話をしながら、様々な条件付けの実験を行ったりします。例えば、「レバーを押すとエサが出てくる仕組みの機械にラットを入れ、その状況をどのくらいの時間で理解するのか?」といった心理状態を観察します。決してラットの解剖実験ではないため、動物が苦手な方でも楽しい実験だと思います。この実験以外にも、一般的に「嘘発見器」と呼ばれるポリグラフ検査の実験を行ったり、初めて扱う機器もありますが刺激的で楽しい実験内容が多いです。

心理学と聞くと、「人の心が読めるようになる。」というイメージを持ちがちですが、実際はそうではなく、精神疾患について学ぶ機会が多かったです。近年心の病にかかる日本人は多く、なぜそのようなことが起

こってしまうのか、その病気の人たちとの関わり方はどうあるべきか、など詳しく勉強してきました。

社会の中で普段私たちがとっている行動ひとつにも理由があり、社会的な目でも心理学を理解することで自分の視野を広げることが出来ます。

私は現在、食行動の心理学を専攻しており、「食」における人々の行動についてテーマを自分で決め、これから実験を通して研究を進めていきます。心理学の中にも様々な分野があるので、興味がある方は是非同志社大学心理学部のホームページをご覧ください。

次に、部活動での取り組みですが、私は現在、剣道部の最上級生として副主将を務めています。

剣道は幼い頃から続けており今年で17年目になりますが、大学の部活動は部員が70名ほどの大きな規模で、ひとつの組織として一人ひとりが責任感を持って行動するため、入部してすぐの頃は高校までとの違いに驚き、常に緊張感がありました。しかし、4年目になって感じることは、高校生の頃培った「チーム一丸となってひとつの目標に向かうこと」、「仲間と達成感を

感じる喜び」、「自分のために、そしてチームのために努力をすること」など、組織の規模は変われど大切なことは変わらないと思います。これは決して部活動に對してだけ当てはまることではないと思うので、皆さんも今の自分の信念に自信を持って勉強にも部活動にも取り組んでいただければと思います。

私たちは週に5〜6日、練習や練習試合に励んでいます。高校の頃よりも練習時間は短いですし、1年を通してのオフ期間もかなり長いです。また、指導者となる監督も毎日練習に来られるわけではありません。そんな中で、本当に自分が強くなりたい、上手くなりたいと思っている学生に共通して言うことは、「自ら考え、行動する力」を持つています。これが高校生の頃と一番違う点だと感じています。毎日勉強や部活動で忙しかった頃の高校生活とは違い、自由時間が多く、「やるもやらないも自分次第」の大学生活で、如何に何事にも全力で取り組めるかが大切だと思います。

また、お酒や煙草が法的に認められるようになる年ですが、大学の名前、部活の名前を常に背負っていることを頭において行動をしています。

私たちの部活動では、海外交流を積極的に行っています。目的は剣道を通して外国の方と触れ合い、広い価値観を身につけることです。

私は昨年の5月にこの取り組みの一環でイギリスへ2週間の遠征へ行きました。同行した9名の中で私は最高学年で責任感と不安でいっぱいでしたが、イギリスの方々には本当に優しく接してくださり、いつでも私たちのことを受け入れて助けてくれました。本来なら関わることの難しいオックスフォード大学の学生も、「もつと剣道を教えて欲しい」という姿勢で接してくれ、街中を案内してくれたり、おいしいレストランに連れて行ってくれたり、仲良く親切に接してくれました。

また、道端で会った人でさえもランゲージバリアのある私たちの面倒をみてくれました。ある晩、宿泊予定のホテルのホストと連絡が取れなくなり、路頭に迷っている私たちを助けてくれたのは道端ですれ違った地元の方でした。

日本で同じことが自分にできているのかと考えたらきつとできていません。「外国人だから」という理由ではなく、「困っている人がいたら助ける」という精神にとっても感動しました。ま

た、英語を話せないことが自分にとってどれだけ不利なことかもよくわかりました。

そして、遠征の締めくくりとして出場したロンドン杯では優勝することができました。このロンドン杯でも沢山学ぶことがありました。日本の剣道では、他チームの一本に拍手を送ることはほとんどありませんが、イギリスの方は私たちの一本に相手チームを含めた会場全体が拍手をしてくれました。私はその光景にかなり驚き、「なぜ皆さん拍手をしてくれたのか」と現地の方に尋ねると「イギリスでは相手の一本でも、素晴らしいと思ったら拍手をするよ」と言われました。今までの自分の見てきた狭い視野が一気に広がったような気がしました。温かく私たちを迎えてくださった現地の皆様に本当に感謝しています。

大学生になると外国に渡航できるチャンスはかなり増えます。外から自分たち

を見つめ直す機会になるのではないかと思います。非皆さんにも経験していただきたいです。

最後に、私は中学生の頃から同志社大学に憧れていました。今こうして同志社大学の学生として充実した毎日をご過ごすことができているのも母校の郡山高校はじめ周りの方の沢山のご縁



と幼い頃から続けてきた剣道のおかげです。私は17年間続けている剣道を通して多くのことを学び、人生を歩むための大切なものを得ました。努力して目標に辿り着くというのが幼い頃から私のポリシーなので、郡山高校OG、同志社大学心理学部生、また体育会剣道部員としての誇りを持って卒業までしつか

り頑張りたいと思います。皆さんにとって少しでも同志社大学に興味を持ち、進学を考える機会になれば嬉しいです。振り返ればあつという間の高校3年間を大切に過ごしてください。最後まで読んでいただきありがとうございます。

おめでとうございます

令和元年褒章受章者

春の叙勲 5月21日

瑞宝 双光章

福山 重光 郡山昭和39年卒 元公立小校長

瑞宝 单光章

小南 正義 城内昭和37年卒 郡山農業元 大和郡山市消防団分団長

秋の叙勲 11月3日

黄綬 褒章

山上 雄平 郡山昭和44年卒 元山上組社長

藍綬 褒章

乾 勝久 郡山昭和38年卒 保護司

島田明税理士事務所

税理士 島田 明 (郡昭47⑤)

〒630-8114 奈良市芝辻町85-10 奈良県自由民主会館2階

TEL(0742)23-3608 FAX(0742)27-4975



令和元年6月30日(日)
江戸三にて
出席者 13人
今回のクラス会は、奈良公園内にある春日大社の一の鳥居の近くに、点在する数寄屋風の家屋からなる明治40年創業の料理旅館「江戸三」。公園の自然と溶けあうようにたたずむ敷地内には時折鹿が遊びにくる。屋号は江戸時代中期から現在の大阪

クラス会に参加して
昭和33年卒 内藤 眞



市西区江戸堀三丁目で商売していた事に由来するという。
会は、黙祷で始まり、乾杯、詩吟の吟詠、懇談。会はなごやかに進んで行く。今回で終わりという事で、最初はグーのジャンケン大会を行い賞金を獲得して戴きました。今回をもちまして郡山高校昭和33年卒の同窓会は終わらせて戴きます。永い間御協力戴きました皆様方に厚く御礼申し上げます。有難うございました。次回からは形を変えてクラス会を継続して行きます。
最後に俳句
「江戸三に傘寿同窓集ふ夏」
丸矢通生作

クラス会報告
昭和38年卒(6組)
天地(藤本)弘子

紅葉の便りも届く、令和元年11月14日木曜日、昭和38年卒業3年6組のクラス会を春日ホテルで開催しました。学窓を巣立った時は53名でしたが、案内状を送ってきたのは41名に減っていました。それでも19名の出席者がありました。今回は、出席者の1名が高校時代から続けている箏を弾いてくれるということで、楽しみにしていました。

まず故人を偲び黙祷をしました。その後乾杯し、食事、歓談へと移りました。その途中で、記念写真も撮りました。そしていよいよ箏曲の演奏が始まり、その美しい澄んだ音色が会場に響きわたり、私達の心に沁み込みました。演奏が終わると自然に称賛の拍手が沸き起こりました。
次に恒例の近況報告になりました。今年は誕生日になると、後期高齢者ということ、「もうなったよ」とか「まだなっていないよ」という声があちこちから聞こえ、笑いを誘っていました。また運転免許の更新時に認知症検査があり、何点で合格したということでも話が弾みました。話し方や口調は長い年月が経ってもあまり変わっていないということに、懐かしさを感じました。

その他の近況では、事業をしている人、シルバーで働いている人、孫の世話をしている人、家庭菜園をしている人、病気や怪我をして大変だった人等々の話が続ききました。そんな中に、昭和、平成、令和と地に足を着けてたくましく生きてきたという自負を感じられ、自分も頑張らねばと決意を新たにしました。最後に校歌斉唱し、次回幹事を決め、再会を約束して閉会しました。次回も元気な笑顔に会えますように…。

郡高1984年(昭和59)3月卒業生 第2回学年同窓会開催のご報告
郡山高校1984会
同窓会幹事一同



郡山高校S38年卒3年6組クラス会 令和元年11月14日 於春日ホテル



暦記念同窓会』へのステップとなる会として、今回は、facebookでのお知らせを中心にご案内させて頂いていただきました。
お集まりいただいた56名の同窓生とともにおいしいお料理や飲み物をいただきながら、再会を喜び合い、なつかしい思い出話は尽きることなく、そして、福引き大会では、番号が発表されるたびにドキドキし、恒例のじゃんけん大会では、最高に盛り上がり、笑顔でいっぱい楽しい時間を過ごしました。
同窓生の皆さま!また次回、再会できます日を楽しみにお互い元気でがんばりましょう!

「米寿川端政義先生」を

囲んで

昭和49年卒 丸橋 成行

令和元年11月23日、橿原市内の「ホテル カシハラ」にて郡山高校軟式庭球部3学年合同の同窓会を開催しました。

昭和49年卒軟式庭球部の同窓会を川端政義先生に声を掛け5年前から毎年開催してまいりました。平成30年の開催時に翌年の同窓会は趣向を変えようとの意見が出ました。同級生の一人が来年は川端先生が米寿を迎えられることを思い出し、それならお祝いをしようと声が上がりました。また先輩や後輩とも会いたいとの声もあり、川端先生の米寿のお祝いも兼ねて3学年合同の同窓会をしようと話がまとまりました。私から1学年上の竹田裕彦さんと1学年下の竹本徹さんに連絡をとり、同窓会の開催に漕ぎつけました。

当日は、昭和48・49・50年卒の3学年、約30名が集まり、オープニングに米寿のお祝いとして水口（旧姓古浦）則子さん揮毫の色紙「寿 龍翔万年春」と花束の贈呈式を行いました。その後は各参加者が近況の報告を行い、川端先生を囲みながら桜花グラウンドでの50年前の思い出話に花を咲かせました。みんなが高校時代に思いを馳せる中、予定の2時間半の時間も瞬く間に過ぎ終演を迎え、最後は郡高校歌を全員で唱和し、またの再会を約束して散会となりました。

昭和58年卒業のみなさまへ

今年の秋に開催を予定しておりました学年同窓会は、残念ながら延期させていただきます。



郡山高校軟式庭球部同窓会 令和元年11月23日 於：THE KASHIHARA

母校の清掃ボランティア

(令和元年11月30日実施)

今年も例年通り、母校郡山高校の植木剪定、落葉枯葉の清掃をしました。

母校の景観と環境保全のためにと始められた植木剪定ボランティア活動も十数回を数えます。

冠山会会員のボランティア並びに学校関係者を含めたくさんの参加者が母校を思つて清掃作業をしてくださいました。

今年は冠山会館西側の大木の伐採作業に注目でした。ロープ、ウィンチ、チェーンソー等、道具を駆使して狭い場所に正確に大木が倒れた時には、遠巻きに作業を見守っていた方々から拍手喝采でした。間近でプロの技を見せていただき感動いたしました。大木で見えなかった石碑も現れ、母校の歴史に触れることも出来ました。

ご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。そして、お疲れさまでした。

清掃ボランティア活動を通して、「母校への思い」を大切に繋いでいきたいと思います。

次回の「清掃ボランティア活動」は令和2年11月28日(土)の予定です。

(昭和48年卒

阪本裕紀子)



冠山会へのご協力お願い

“冠山会だより”の発行は、今、危機に直面しています。冠山会の活動は皆様会員(卒業生全員)の協力金¥2,000/年のみをもって運営されていると言っても過言ではありません。

この“冠山会だより”が我々3万有余の卒業生をつなぐ唯一の糸であります。上は100才以上の方から新卒業生まで、こんなにも広く同じ母校を巣立った友としてつながっていると思えば、すばらしい事だとは思われませんか？こんなにも多くの同窓生に全員配布されているのは珍しいと聞きます。

是非とも、この“冠山会だより”の発行事業の存続のため、協力金の振込みを、よろしくお願い申し上げます。なお資金集めのため“冠山会だより”に企業広告を掲載していただける方を募っていますのでよろしくお願い致します。

〇〇会計事務所

冠山 太郎 S〇年卒

1マス ¥5,000

約9cm × 約5cm

詳細は冠山会事務局まで御連絡下さい。

冠山会歴史愛好会で

阿騎野・松山地区を訪ねて

昭和47年卒 春沢 信哉

昨年度の歴史愛好会は、竹村隆先生らの御尽力で第1回は檀原神宮周辺(R1/9/26)、第2回阿騎野・松山(10/31)、第3回清澄の里(正暦寺)(11/28)が開催されました。予定では、今年の3月と4月にさらに3回の催しが計画されていましたが、残念なことにコロナウイルスの蔓延でこれ以降の開催は急遽見送られました。私は、都合で阿騎野・松山のみの参加でした。

当日は晴天と清涼な空気の中、会の皆様十数人と近鉄榛原駅からバスで大宇陀西山まで行き、徒歩ですこし東に進むと宇陀松山の城下町の出入り口である国史跡の黒門に着きました。散策は、ここから南へと進められました。

この城下町は、戦国時代の秋山氏が城を築いたのが始まりとされ、江戸初期からは織田家が藩主となり、元禄7年からは幕府の天領となりました。そして、昭和40年頃まで吉野紙、吉野葛、製薬、林業の生産と流通で賑わった商業地であったそうです。平成18年には、国の重要建造物保存地区に指定されています。竹村先生のお話では、榛原から松山への鉄道開設が頓挫し、近代化から取り残された事が幸いし、昔の面影を色濃く残すことになったと言う事です。最初に春日神社が中世の城郭の機能を併せ持つ春日門跡を見学しまし

た。旧街道沿いには風格のある商家と寺社が建ち並んでおり、まるで藤沢周平氏の武家小説に出てくる地方の小藩にきたようでした。さらに、町の西側には、大和朝廷の葉草採り(葉獵)の地であったとされる「阿騎野人麻呂公園」があり、人麻呂が歌を詠んだ「かぎろいの丘万葉公園」、能舞台のある「阿紀神社」を訪ねました。昼食後、私は予定があり一足先に帰りましたが、皆様はさらに松山城跡に足を進められました。帰りの電車の中で、昔見た星薬科大学本館を飾る壁画を思い出しました。それは、天平の衣装の女達が緑の野で葉草を摘む姿で、きつと阿騎野の「葉獵」に違いないと思いました。皆様と身近な地のすてきな秋の一日を楽しませていただきました。次回の開催が楽しみに待たれます。



冠山会歴史愛好会 報告

昭和39年卒 中田 敏夫

昨年5月の総会で冠山会の事業として再度承認いただきました。これを受けて30名の会員が決まり、活動を開始しました。

第1回「檀原周辺を散策」近鉄檀原神宮前駅に集合。挨拶のあと駅西口を出発し、畝傍山西南の丘陵地にある新沢千塚古墳群に向かいました。途中檀原高校近くにあるミサンザイ古墳と榊山古墳を巡り、約600基からなる古墳群に着きました。遊歩道が整備されており、各自自由に散策しました。バスで駅に戻り賑やかな食事の後、「久米の仙人」として知られている久米寺を参拝し、境内を散策しました。楽しい一日を過ごし解散しました。

第2回「宇陀阿騎野・松山周辺を散策」近鉄榛原駅に集合。大宇陀バス停で下車。この西側は阿騎野と呼ばれ、大和朝廷の狩り場であったようです。この地区は広大で古代人の遺跡として整備された阿騎野人麻呂公園と柿本人麻呂が万葉集に詠んだかぎろひの丘万葉公園があります。昼食後阿騎野から東側の松山に移動し、旧街道沿いに江戸時代から明治時代の風格ある商家が数多く残されており感動しました。松山城跡はこの町の東に聳える古城山の頂上に残っており、ここからの見晴らしは抜群でした。下山し

大宇陀バス停で解散しました。秋晴れの楽しい一日でした。

第3回「清澄の里(正暦寺)周辺を散策」JR帯解駅に集合。駅近辺の帯解寺などを巡り、東の山麓部にある大和三門跡尼寺の円照寺を山門から見学しました。その後山を越えて正暦寺に着きました。周辺は錦の里と呼ばれるほど紅葉が美しく。昼食は山菜や野菜を用いたお寺の精進料理で見事な出来映えで大変美味でした。参拝後解散しました。

竹村先生には毎回詳しい資料や昼食の手配などお世話になり大変感謝しております。

なお、予定されていた残り3回の活動は新型コロナウイルスのために中止されました。



2020年度「冠山会歴史愛好会」について

新型コロナウイルス禍の影響で活動が休止となりました。来年、活動が再開された際には皆様のご参加をお待ちいたします。詳しくは来年の冠山会だよりでお知らせいたします。

文武両道

高大接続改革が推進される中、大学入学者選抜改革がなされようとしています。その中で、2021年度大学入学選抜試験より、「大学入試センター試験」に代わって「大学入学共通テスト」が実施されること、従来のいわゆる「AO入試」や「公募制推薦入試」が「総合選抜型」「学校推薦型選抜」となり定員枠が増やされることなどが決定されています。さらに、英語資格・検定試験の取り扱い等も検討されているのが現状です。

いずれも、「学力の三要素」とされている「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を身に付け、それを総合的に評価するのが目的です。そのため、目の前の入試方法の変化に全国の高校生や保護者の方々にも戸惑いがあります。しかし、郡山高校は長い歴史の中で掲げられてきた校訓、「誠実、剛毅、雄大」の中に、まさに今提唱されている「学力の三要素」がすでに込められています。

本年度も、生徒一人ひとりが何事にも真剣に、強い意志で、大きな理想を持って邁進することを期待したいと思います。

2020年度卒業生の進路状況

1 合格者数

(延人数でかつ、一人で複数方式で合格した場合、「合格者数」は1人としています)

	4 年 制 大 学				短期大学	準 大学	専修学校 (各種学校)	就 職
	国公立			私立				
	計	国立	公立					
令和2年3月卒業生	118	69	49	626	3	1	1	3
既 卒 生	41	34	7	162	1	0	0	0
合 計	159	103	56	788	4	1	1	3

2 進路状況 (1人1校)

	受験者数
令和2年3月卒業生	356
既 卒 生	72
合 計	428

	4 年 制 大 学				短期大学	準大学	専修学校 (各種学校)	就 職	そ の 他
	国公立			私立					
	計	国立	公立						
令和2年3月卒業生	116	70	46	169	1	0	1	3	70
既 卒 生	41	34	7	18	0	0	0	0	5
合 計	157	104	53	187	1	0	1	3	75

国公立大学	合格者数
釧路公立	1
北海道	3
秋田	1
千葉	1
東京都立	1
東京海洋	2
東京芸術	1
横浜市立	1
金沢	2
信州	2
長野県立	1
名古屋	3
三重	3
滋賀	2
滋賀県立	6
京都	4
京都教育	2
京都工芸繊維	1
京都市立芸術	2
京都府立	3
京都府立医科	1
福知山公立	1
大 阪	8
大阪教育	11
大阪市立	14

国公立大学	合格者数
大阪府立	9
神戸	17
神戸市外国語	1
兵庫教育	1
兵庫県立	4
奈良教育	15
奈良県立	1
奈良県立医科	9
奈良女子	8
和歌山	4
岡山	1
岡山県立	1
広島	4
広島市立	1
徳島	2
香川	1
愛媛	1
高知	1
宮崎	1
鹿児島	1
琉球	1
合 計	159

私立大学・短大・他	合格者数
青山学院	1
亜細亜	1
北里	1
芝浦工業	2
上智	1
大東文化	1
中央	2
帝京	1
東京理科	4
東洋	1
日本女子	1
日本赤十字看護	1
法政	2
武蔵野美術	3
早稲田	4
愛知淑徳	1
藤田医科	1
成安造形	1
長浜バイオ	1
京都外国語	1
京都産業	12
京都女子	25
京都精華	1
京都芸術	1
京都造形芸術	2

私立大学・短大・他	合格者数
京都橘	3
京都薬科	2
嵯峨美術	1
同志社	79
同志社女子	34
佛教	3
龍谷	68
立命館	71
藍野	1
追手門学院	2
大阪医科	3
大阪経済	4
大阪芸術	3
大阪工業	17
大阪樟蔭女子	1
大阪薬科	3
関西	134
関西医科	1
関西外国語	8
関西福祉科学	2
近畿	133
四天王寺	2
摂南	5
羽衣国際	1
阪南	1

私立大学・短大・他	合格者数
梅花女子	1
桃山学院	1
桃山学院教育	2
森ノ宮医療	2
大和	2
関西学院	38
甲南	2
甲南女子	2
神戸女子	2
神戸薬科	3
兵庫医療	1
武庫川女子	21
畿央	34
帝塚山	18
天理	1
天理医療	3
奈良学園	2
産業医科	1
立命館アジア太平洋	1
嵯峨美術短大	1
武庫川女子大短大部	2
白鳳短大	1
防衛医科大学校	1
合 計	793

令和元年度
クラブ活動の記録

平成31年4月から令和2年2月まで

〔体育部〕

◆陸上競技部◆

○阪奈和対抗

〔男子〕 円盤投

3位

○奈良県選手権

〔女子〕 円盤投

3位

○全国高校総体県予選

〔男子〕 400m

5位

走高跳

三段跳

6位

砲丸投

円盤投

1位

走幅跳

円盤投

2位

○近畿高校ユース県予選

〔2年の部男子〕

走高跳

3位

走幅跳

〔2年の部女子〕

砲丸投

3位

円盤投

〔1年の部男子〕

棒高跳

2位

三段跳

〔1年の部女子〕

400mH

2位

○近畿高校ユース

〔1年の部〕

棒高跳

5位

三段跳

○県高校総体

〔男子〕 走幅跳

2位

三段跳

〔女子〕 400mH

2位

4×100m

3位

円盤投

○高校駅伝県予選

〔男子〕

〔女子〕

◆野球部◆

○平成31年度春季県大会

準優勝

○2019年度春季近畿大会

準決勝

○第101回選手権奈良大会

3回戦

○令和元年度秋季県大会

準々決勝

◆バスケットボール部◆

○県高校総体

〔女子〕 Bブロック2位

○新人大会

〔男子〕 ベスト8

〔女子〕 ベスト16

◆バレーボール部◆

○令和元年度奈良県高等学校

バレーボール新人大会

〔男子〕 ベスト8

〔女子〕 ベスト16

◆柔道部◆

○第68回総体県予選

男子66kg級 ベスト8

◆バドミントン部◆

○第69回奈良県高等学校

バドミントン春季大会

〔男子〕

ダブルス ベスト16

〔女子〕

ダブルス ベスト8

シングルス

2位

1組

○令和元年度全国高等学校総合体育大会・

高松宮記念杯

第70回全国高等学校バドミントン選手権大

会奈良県予選全国高校総合体育大会県予選

〔男子〕

団体 3位

ダブルス

ベスト16

シングルス

3位

1組

〔女子〕

団体 3位

ダブルス

ベスト8

シングルス

ベスト16

2組

○第66回近畿高校選手権大会県予選

〔男子〕 ダブルス ベスト16

2組

〔女子〕 ダブルス ベスト16

2組

〔近畿大会出場 男子複1組、単1名

〕

○第72回奈良県高等学校総合体育

大会バドミントン競技

〔女子〕

団体Aブロック

優勝

○第66回近畿高校選手権大会

〔男子〕

ダブルス

1組

出場

シングルス

1名

出場

○第48回全国高等学校選抜大会県予選

兼69回奈良県高等学校バドミントン

新人大会県高校新人大会

〔男子〕

団体

3位

ダブルス

3位

シングルス

ベスト16

1組

1名

〔女子〕

団体

3位

ベスト16

2組

◆ソフトボール部◆

○近畿大会県予選

4位(準決勝敗退)

○三県大会予選

決勝トーナメント敗退

○県高校総体

Aブロック準優勝

◆卓球部◆

○第73回近畿高等学校卓球選手権大会

男子学校対抗 出場

〔女子〕 第3位

○県高校総体兼選抜県予選

〔男子〕 第2位

〔女子〕 第2位

○令和元年度近畿高等学校選抜

ホッケー大会

〔男子〕 出場

〔女子〕 出場

○県新人大会

〔男子〕 第2位

〔女子〕 第2位

◆弓道部◆

○平成31年度奈良県選手権

〔男子〕 個人近的

1位

個人総合

3位

〔女子〕 個人総合

1位

○平成31年度全国高等学校総合体育大

会第64回全国高等学校弓道大会兼第

72回近畿高等学校弓道大会県予選

〔男子〕 個人

2、3位

〔女子〕 個人

1位

4、5位

○第72回近畿高等学校弓道大会

〔男子〕 個人

出場

〔女子〕 個人

優勝

優勝

優勝

優勝

優勝

優勝

優勝

優勝

優勝

優勝

優勝

優勝

優勝

優勝

優勝

優勝

〔女子〕 個人 出場

○令和元年度県高等学校新人大会

兼学年別弓道大会(東部)

〔女子〕 1年団体

2位

2年団体

2位

1年個人

1、2位

2年個人

1位

3年個人

1位

◆水泳競技部◆

○第73回奈良県高等学校選手権水泳競技

大会兼近畿高等学校選手権水泳競技大会

奈良県予選大会競泳競技の部

〔女子〕

50m自由形

5位

100m自由形

7位

200m自由形

6位

400m自由形

4位

200m自由形

3位

200m個人メドレー

5位

400m個人メドレー

4位

400mメドレーリレー

6位

400mメドレーリレー

2位

400mメドレーリレー

2位

○第3回近畿高等学校新人水泳競技大会

〔男子・女子〕 右記メンバー出場

○第72回奈良県高等学校総合体育大会

〔女子1年〕

50m自由形

2位

〔1年男子〕

2位

- 50 m 自由形 1位
200 m 個人メドレー 1位
〔男子2、3年〕
200 m 個人メドレー 2位
200 m 3位
- ◆剣道部◆
○全国高校総体県予選
〔男子〕 団体 2位
〔男子〕 個人 2位
〔女子〕 団体 3位
〔女子〕 個人 2、3位
- 近畿高校剣道大会
〔男子〕 団体 ベスト8
〔女子〕 個人 出場
- 全国高校総体
〔男子〕 個人 出場
〔女子〕 個人 出場
- 県高校総体
〔男子〕 総合 2位
〔男子〕 個人 2、3位
〔女子〕 総合 3位
〔女子〕 個人 3位
- 県高校新人大会
〔男子〕 団体 2位
〔男子〕 個人 2、3位
〔女子〕 団体 3位
〔女子〕 個人 3位
- 全国高校選抜県予選
〔男子〕 団体 2位
〔男子〕 個人 2位
〔女子〕 団体 2位
〔女子〕 個人 2位
- 近畿高校選抜大会
〔男子〕 団体 出場
〔女子〕 団体 出場
- 全国高校選抜大会
〔男子〕 団体 出場
〔男子〕 個人 出場
〔女子〕 団体 出場
〔女子〕 個人 出場
- ◆山岳部◆
○全国高校総体予選・室生、曾爾
〔男子団体〕 チーム① 1位
〔男子団体〕 チーム③ 2位
チーム② 3位
11月17日(日)
- 全国高校総体・宮崎県(親父山・祖母山)
〔男子団体〕 33位
○近畿高校登山大会・和歌山県(熊野古道)
〔男子団体〕 B隊 3位
○県総合体育大会・金剛山
○県新人登山大会・三峰山
〔男子団体〕 1位
○合宿山行
奈良県・大普賢岳
北アルプス・剣岳
- 〔文化部〕
◆合唱部◆
○第12回郡山高校合唱部定期演奏会(やまと郡山城ホール)
5月3日(金・祝)
○和と輪コンサート出演(王寺リバーホール)
6月1日(土)
○第57回奈良県合唱祭参加(さざんかホール)
6月16日(日)
○第43回全国高等学校総合文化祭(鳥栖市民会館)
7月31日(水)～8月2日(金)
奈良県選抜女声合唱団として4名参加。
○第86回NHK全国学校音楽コンクール奈良大会出場 銀賞受賞(大和高田市文化会館さざんかホール)
8月8日(木)
敬老会出演
(DMG MORI やまと郡山城ホール)
9月16日(月・祝)
○第34回奈良県高等学校総合文化祭総合発表出場(マルベリーホール)
11月9日(土)
○第39回近畿高等学校総合文化祭合唱部門(文化・パルク城陽)
11月17日(日)
- 第13回奈良ヴォーカルアンサンブルコンテスト出場 銀賞受賞(さざんかホール)
12月15日(日)
○大和郡山市合唱フェスティバル出場(やまと郡山城ホール)
3月16日(土)
○新入生歓迎会、文化祭学校説明会で合唱
- ◆放送部◆
○第66回NHK杯全国高校放送コンテスト奈良大会
〔朗読部門〕 出場
〔創作テレビドラマ部門〕 出場
〔校内放送研究発表〕 出場
○第43回全国高等学校総合文化祭放送文化部門
〔アナウンス部門〕 出場
〔朗読部門〕 出場
○第36回奈良県高等学校放送コンテスト
〔アナウンス部門〕 優良賞、奨励賞
- ◆華道部◆
○第34回奈良県高等学校総合文化祭日本音楽部門優秀賞
○第39回近畿高等学校総合文化祭京都大会日本音楽部門参加
○新入生歓迎のつどい、文化祭での演奏(校内)
○老人支援介護センター「かんざん園」訪問(2月)、第60回大和郡山お城祭りにて演奏(3月)
- ◆科学部電気班◆
○WRO(ワールド・ロボット・オンラインピアド)に向けたロボット製作・プログラミング、
2019 WRO奈良予選大会出場、3Dオリジナル動画の作成
- ◆科学部天文班◆
天候の良い日に随時校内屋上にて天体観測を行っている。その他にも、文化祭や県内の科学研究発表会にて発表をしている。
- ◆生物部◆
鷺池水生プラントクトン調査など各種実験観察を行った。
グリーンヒドラの出芽に関する実験・研究を行い、科学研究実践活動発表会・日本共生生物学会等において発表。
- ◆写真部◆
○撮影会
宇治市周辺、平等院鳳凰堂、長居植物園、梅田スカイビル、高台寺など
○三の丸写真クラブ四五周年記念写真展、全日写連郡山支部三五周年記念
○新聞局◆
校内新聞である「啓明新聞」第27九号を発行した。
- ◆将棋同好会◆
○第43回全国高等学校総合文化祭将棋部門奈良県予選
男子個人戦準優勝
○第39回近畿高等学校総合文化祭将棋部門奈良県予選
男子個人戦準優勝
○第32回全国高等学校将棋竜王戦奈良県予選 準優勝
- ◆茶道部◆
大和郡山お城まつり、冠山会総会、文化祭にてお茶席を設け、お手を披露する。
◆軽音楽同好会◆
放課後週四日・校友会館一階で練習を行っている。
○8月、大和郡山市主催全国金魚すくい選手権大会に審判として参加。本校文化祭にて演奏。
○3月、カフェプラチナにて発表会を開催。大和郡山お城まつり時代行列・白狐渡御に参加。
- ◆演劇部◆
○平城京天平祭 市の再現ボランティア(5月)
○第44回奈良県高等学校総合文化祭 演劇部門出演(11月)
○第54回近畿高等学校演劇研究大会出演(11月)
- ◆美術部◆
○第2回英語パフォーマンス甲子園準グランプリ
○第34回奈良県高等学校総合文化祭ポスター原画 佳作1点
○第34回奈良県高等学校総合文化祭優秀賞3点
○第27回アートグランプリ 優良賞1点
○柳澤神社大絵馬奉納
◆書道部◆
○第20回高校生国際展 佳作3名
○第46回奈良県ジュニア美術展覧会 佳作1名 入選者多数
○第66回大和郡山市芸術祭 奨励賞2名 入選者多数
○第66回日本学書展 特選1名
○第34回奈良県高等学校総合文化祭 奨励賞
○第66回大神神社書初めまつり 特選1名

トピックス

合唱部

奈良県選抜合唱団

合唱部顧問 上 寫 祐子

私たち合唱部は、奈良県選抜合唱団の一員として全国高等学校総合文化祭に、毎年参加させていただいています。昨年度は佐賀県（鳥栖市民会館）での開催でした。全国の舞台は、想像以上の刺激や発見があり、私たちを大きく成長させてくれます。今までに全国各地で奈良県として成果を発表してきた「選抜合唱団」ですが、今年でいよいよ20年目を迎えました。奈良県の高校合唱のレベルアップを目指して発足し、各校のリーダーとして活躍できるよう新2年生を募集、そして結成しています。合同練習会は1学期から夏休みにかけて6回程度実施されますが、ここで得た学びを各校に持ち帰り、各校の、そして奈良県全体のレベルアップにつなげることを主たる目的としています。参加生徒は皆、音取りなどの準備を完璧にこなし第1回目の練習会を迎えます。指揮者からの高度な要求に戸惑いながらも、一人一人が志を高く、責任感や使命感をもって必死でくいつき練習に参加し本番を迎えます。また教員である我々にとって

も貴重な研修の場となっていて、生徒と教員が一丸となり取り組んでいます。

平成20年度からは「選抜合唱団で新曲を委嘱し、全国高等学校総合文化祭で初演する」という活動を行っています。全国の舞台で奈良県の演奏を楽しみにしてくださる人々がいらつしやることを、会場の張りつめた空気から感じています。そのようなプレッシャーの中、曲を作り上げていく過程に携われること、曲が生まれる瞬間に立ち会わせてもらえることは音楽に携わる者としての

至上の喜びとなっています。

先輩から後輩へと毎年受け継がれてきたかけがえのない活動がこうして続いていること、その活動を理解し成果を挙げ続けてくれている奈良県の高校生たちを誇らしく思います。

現在本校合唱部は、定期演奏会の開催をはじめ各種コンクールへの出場、全国・近畿・県の高総文祭への出場、敬老会や合唱フェスティバルなど地域の行事に出演するなど校内外を問わず活動しています。今後も音楽を通して表現することにこだわりながら、思いを込めて立たせていただくひとつひとつの舞台と、音楽で繋がったご縁に感謝しながら、日々練習に励んでいきたいと思っています。



令和元年度事業報告

- 4月20日(土) 役員会・年次幹事会合同会議開催
 - 令和元年度総会の提出議題および運営方法について協議した。
 - 冠山会名簿の調査編集について協議した。
- 5月12日(日) 令和元年度冠山会総会開催 午前10時～ 郡山高校講堂
 - 平成30年度事業報告、決算報告、監査報告が承認された。
 - 令和元年度事業計画案、予算案について承認された。
 - 冠山会名簿の調査編集・発行事業の実施について承認を得た。
 - 記念事業…合唱部、箏曲部、演劇部の生徒が活動発表した。
 - 茶道部の生徒がお茶席を設営して参加者を接待してくれた。
 - 懇親会…大和郡山市商工会館で開催。昭和45年卒業の学年に参加を要請し多数の参加者を得て盛会となった。
- 6月13日(木) 第1回本部役員会を開催
- 6月22日(土) 第1回役員会を開催
 - 元年度冠山会総会の総括
 - 3年度から実施する総会運営の変更について基本方針を協議した。
 - 元年度「冠山会だより」発刊の報告
- 7月1日、8日、15日、22日、29日 事務局を開局

冠山会だより発行後の会員からの問い合わせ等に対応するため、1ヶ月間毎週月曜日に事務局を開局した。
- 8月22日(木)
 - 14:00～ 情報交換会
 - 土居新校長と冠山会本部役員との懇談
 - ・郡山高校の現状と今後の課題を拝聴した。
 - ・冠山会事業とりわけ学校支援事業等を説明した。
 - 16:00～ 第2回本部役員会

3年度総会会場となるホテル日航奈良の会場レイアウトや経費見積等について意見交換した。
- 11月30日(土)
 - 10:00～ 清掃ボランティア活動実施

約24名が参加し、学校中庭(共慶園)の剪定作業および冠山会館周辺の除草・清掃作業を実施した。
 - 13:00～ 臨時役員会開催
 - ・ホテル日航奈良との打ち合わせ内容について報告
 - ・冠山会名簿編集作業の進捗状況を説明
- 令和2年2月7日(金) 会報編集委員会

冠山会だより第40号の発刊について編集の基本方針および作業スケジュールを決定した。
- 2月28日(金) 冠山会入会式

新型コロナ感染拡大にともない会長出席を辞退した。
- 3月1日(日) 卒業証書授与式

新型コロナ感染拡大にともない冠山会本部役員および卒業後50年を記念して招待された学年が式典参加を辞退した。
- 3月21日(土) 第3回役員会

新型コロナ感染拡大にともない開催を自粛し、4月25日に延期した。
- 3月30日(月) 会報編集委員会

印刷会社に初稿を提出し、校正作業の今後の作業日程等について印刷業者と打ち合わせした。
- 4月9日(木) 入学式

新型コロナ感染拡大にともない冠山会本部役員の出席を自粛した。
- 4月14日(火) 会計監査

令和元年度決算について、会計監事による監査を実施した。

令和2年度の冠山会総会は、新型コロナウイルス感染拡大による非常事態宣言発令下において、本会として感染防止の責務を果たすとともに学校閉鎖の状態にある郡山高校に迷惑をかけないために開催を中止することにいたしました。

総会案件の役員改選、事業報告・事業計画および決算案・予算案については4月25日(土)に開催しました役員会において慎重審議のうえ承認させていただいております。

◆ 令和元年度 収支決算書

奈良県立郡山高等学校冠山会
自 平成31年4月1日～至 令和2年3月31日

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
前期繰越金	1,200,132	1,200,132	0	前年度からの繰越金
入 会 金	1,950,000	1,785,000	-165,000	卒業生 5,000円×357人=1,785,000円
活動協力金	4,600,000	4,432,520	-167,480	冠山会活動協力金
総会参加費	150,000	142,000	-8,000	一般会員 総会参加費(2,000円×71名分)
寄 付 金	500,000	221,133	-278,867	前校長匠原氏、乾氏、卒業生筒井氏、他529年卒業生、538年卒業クラス生、昭和45年卒業生(50周年)有志
雑 収 入	49,868	10,000	-39,868	広告収入
合 計	8,450,000	7,790,785	-659,215	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
委 託 費	3,800,000	3,853,919	53,919	発行手数料3,500,000円 振込手数料353,919円
総 会 費	1,000,000	1,101,444	101,444	総会開催経費、新入会員懇親会費、会員懇親会費、講師謝礼
卒50周年招待費	250,000	169,541	-80,459	卒50周年(昭和45年卒)招待経費
報 業 酬	320,000	322,000	2,000	事務補助職員報酬
事 務 費	300,000	264,015	-35,985	事務用品、通信費、回線使用料等
卒業記念品費	300,000	364,980	64,980	卒業記念品費(卒業証書フォルダー)
会 議 費	30,000	0	-30,000	
事 業 費	200,000	42,360	-157,640	文化祭出品にかかる経費、剪定ボランティア活動経費
慶 弔 費	200,000	171,385	-28,615	
全国大会等出場祝い金	350,000	314,000	-36,000	
諸 費	100,000	107,000	7,000	会長、副会長送別会参加費他
予 備 費	100,000	0	-100,000	
リーダー育成 海外研修支援金	100,000	100,000	0	令和元年度リーダー育成海外研修
維持費等積立金	1,400,000	0	-1,400,000	冠山会館維持及び周年記念準備積立金、事業費積立金
新規事業検討費	0	0	0	
合 計	8,450,000	6,810,644	-1,639,356	

収入決算額 7,790,785 円
支出決算額 6,810,644 円
差引残額 980,141 円 (令和2年度へ繰越)

◆ 令和元年度 冠山会館維持積立金収支報告書

(単位:円)

科 目	収入の部	支出の部	残 額	摘 要
	前年度末累計 本年度積立金 利 息 合 計	本年度支出金 翌年度繰越金		
積立金	3,629,810 0 350 3,630,160	0 3,630,160		

◆ 令和元年度 周年記念準備積立金収支報告書

(単位:円)

科 目	収入の部	支出の部	残 額	摘 要
	前年度末累計 本年度積立金 利 息 合 計	本年度支出金 翌年度繰越金		
積立金	3,902,800 0 359 3,903,159	0 3,903,159		

◆ 令和元年度 事業準備積立金収支報告書

(単位:円)

科 目	収入の部	支出の部	残 額	摘 要
	前年度末累計 本年度積立金 利 息 合 計	本年度支出金 翌年度繰越金		
積立金	1,000,043 0 86 1,000,129	0 1,000,129		

◆ 令和2年度 冠山会予算書

奈良県立郡山高等学校冠山会
自 令和2年4月1日～至 令和3年3月31日

収入予算額 7,800,100円
支出予算額 7,800,000円
差引過不足額 100円

収入の部

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
前期繰越金	980,141	1,200,132	-219,991	前年度からの繰越金
入 会 金	1,780,000	1,950,000	-170,000	卒業生 5,000円×356人=1,780,000円
活動協力金	4,500,000	4,600,000	-100,000	冠山会活動協力金
総会参加費	150,000	150,000	0	総会参加費
寄 付 金	300,000	500,000	-200,000	
雑 収 入	89,959	49,868	40,091	広告収入等
合 計	7,800,100	8,450,000	-649,900	

支出の部

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
委 託 費	3,800,000	3,800,000	0	会報発行委託料(樹サルト)、振込手数料
総 会 費	1,000,000	1,000,000	0	講師謝礼、新入会員懇親会費、会員懇親会費等
卒50周年招待費	250,000	250,000	0	卒50周年(昭和46年卒)招待経費
報 業 酬	320,000	320,000	0	事務補助報酬(月額20,000円×16ヶ月分)
事 務 費	300,000	300,000	0	事務用品、運送料、通信費等
卒業記念品費	350,000	300,000	50,000	卒業記念品贈呈費用
会 議 費	30,000	30,000	0	役員会、年次幹事会、活性化部会開催経費
事 業 費	100,000	200,000	-100,000	植木剪定ボランティア運営費等
慶 弔 費	200,000	200,000	0	
全国大会等出場祝い金	350,000	350,000	0	
諸 費	100,000	100,000	0	冠山会館備品等
予 備 費	100,000	100,000	0	
リーダー育成 海外研修支援金	100,000	100,000	0	
維持費等積立金	800,000	1,400,000	-600,000	冠山会館維持、周年記念準備積立金、事業積立
合 計	7,800,000	8,450,000	-650,000	

◆ 財産目録

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
普通預金	980,141	南都銀行 郡山支店 普通預金 (運用口座)
定期預金	3,630,160	南都銀行 郡山支店 定期預金 (積立金口座)
定期預金	3,903,159	南都銀行 郡山支店 定期預金 (積立金口座)
定期預金	1,000,129	南都銀行 郡山支店 定期預金 (積立金口座)

令和2年3月31日現在

監 査 報 告

本日、上記の決算書について会計監査を執行しました結果、預金、帳簿、及び関係書類は符合し、正確に処理されていたことを認めます。

令和2年4月14日

会計監事

西本 功



令和2年度事業計画

1. 本部役員会および役員会の開催

- 4月25日(土) 役員会(総会議案等)
- 6月13日(土) 第1回役員会(新旧役員の交代)、懇親会開催
- 9月12日(土) 令和3年度総会の打ち合わせ
- 12月12日(土) 第2回役員会
 - ・会員名簿発行事業の完了報告と決算
 - ・令和3年度総会の運営について
- 1月23日(土) 令和3年度総会の打ち合わせ
- 3月6日(土) 本部役員会(令和3年度総会の運営概要協議)
- 3月20日(土) 第3回役員会(令和3年度総会の計画案協議)

2. 令和2年度総会の開催

- 5月10日(日) 午前10時開会
 - ・役員改選
 - ・令和元年度事業報告、決算報告、監査報告
 - ・令和2年度事業計画案、予算案審議
 - ・記念事業 生徒の部活動発表…コロナ感染拡大に伴い中止
 - ・懇親会 非常事態宣言発令により開催自粛

3. 冠山会歴史愛好会

- 第1回 9月16日(水)、第2回 10月(未定)、第3回 11月25日(水)、第4回 3月24日(水)、第5回 4月28日(水)

4. 冠山会だより(会報)の発行

- 6月下旬 第40号発行 会員へ発送

5. 清掃ボランティア活動

- 11月28日(土) 冠山会館周辺の清掃及び校内植栽の整備活動

6. 情報交換会

- 10月中旬 本部役員と校長先生との情報交換

7. 冠山会入会式並びに卒業式

- 2月26日(金) 卒業記念品の贈呈式ならびに冠山会入会式
- 3月1日(月) 郡山高校卒業証書授与式
- 昭和46年卒業の皆さんが卒業後50年を記念して招待される

令和2年度冠山会総会は新型コロナウイルス感染拡大にともない4月25日開催の役員会において開催中止を決定しました。また歴史愛好会についてもすべての年間行事を中止することになりました。

● 郡山高校 ● インターネットでホームページを開設
URLアドレスは、<http://www.koriyama-hs.ed.jp> です。

同窓会をされた
幹事さんへのお願い

名簿の異動がありましたら
冠山会事務局 (0743-55-0556)
までFAXにてお知らせ頂ければ有難く思います。

令和2年度

人事異動

教員退職

	氏名	職名	新所属	教科等	備考
1	中澤 清文	教頭	平城高校	国語	再任用教諭
2	真粉由佳里	教諭		国語	
3	中島 功	教諭	郡山高校	地歴公民	再任用教諭

事務退職

	氏名	職名	新所属	職名	備考
1	植田三津子	係長	奈良しごとiセンター	主査	再任用
2	永田 美紗	臨時事務			

教員転出

	氏名	職名	新所属	教科等	備考
1	福井 伸大	教諭	王寺工業高校	国語	
2	阪田 充司	教諭	学校支援課	数学	主査
3	田名後健太郎	教諭	五條高校	理科	
4	中村 昂平	教諭	奈良北高校	理科	
5	山本 龍	講師	桜井高校	数学	
6	山崎 諭弘	講師	国際高校	保健体育	
7	久次米 智	講師	法隆寺国際高校	英語	
8	竹内 裕哉	講師	奈良朱雀高校	商業	

育休

	氏名	職名	期間	教科等
1	井田 幸代	教諭	2020/4/1～2021/3/31	芸術(美)

大学院研修

	氏名	職名	期間	教科等
1	山岡 昂	教諭	2020/4/1～2021/3/31	数学

教員転入

	氏名	職名	旧所属	教科等	備考
1	嶋岡 浩三	教頭	スポーツ振興課	数学	
2	長田 真範	教頭	学校教育課	理科	
3	西村 亜矢	教諭	高田高校	国語	
4	木下 礎	教諭	桜井高校	数学	
5	池永 克好	教諭	平城高校	理科	
6	岡野 雄基	教諭	奈良女子大学附属高校	保健体育	
7	竹内 巧	再任用教諭	畝傍高校	理科	
8	小野 夏穂	講師	高田高校	国語	
9	中山 千嘉	講師		数学	大学院研修補充
10	小林 侑子	講師		英語	
11	杉本 恵司	講師	農林振興事務所	情報	

事務転入

	氏名	職名	旧所属	職名	備考
1	久保西久美	係長	磯城野高校	係長	
2	奥田 瑞穂	臨時事務			

講師等継続

	氏名	職名	備考	教科等
1	清水 薫	任期付教諭	育休補充	芸術(美)
2	新谷 有紀	養護臨時講師		養護

非常勤講師

	氏名	教科	備考
1	黒木 浩亮	英語	
2	吉川 奈緒	保健体育	
3	芦田真奈美	家庭	



オリンピックを楽しみに迎えた
2020年。こんな年になるな
んて誰が想像していたこと
でしょう。誰も予想も想像も
していませんでした。新型コロナウ
イルスに振り回された半年でし
た。同窓会の延期や中止で大変
な思いをされた幹事さんのご苦
勞等いかばかりかと思えます。
特に、ご卒業50周年を迎えられ
た卒業生の方々は本当に残念な
思いをされたこと察するにあま
りありません。早くコロナが収
束、そして終息することを願
いながら、冠山会だよりを編集
いたしました。(S48 阪本)

編集後記

令和元年度
冠山会寄附金

下記の皆様よりご寄附いただきました。
ありがとうございました。

第24代校長 匠原記世子氏より	30,000円
昭和29年度卒業生「冠福会」同窓生一同より	22,133円
昭和38年卒業生クラス会より	5,000円
乾 勝久氏より	30,000円
昭和33年度卒業生 筒井薫様より	10,000円
卒業50周年(昭和45年卒業生有志)より	124,000円